

# 日本語・日本文化総合教育研究センター

Research and Education Center for Japanese Language and Culture / REC-J

令和6年度に文部科学省より筑波大学が採択された「高度日本語人材育成のための教育システム開発推進事業」において、新たに開設した「日本語・日本文化総合教育研究センター (REC-J: Research and Education Center for Japanese Language and Culture)」について広く情報発信するとともに、日本語教育機関・日本語教師等の交流活性化と連携強化を目的としてキックオフシンポジウムを開催します。本事業では、本学がこれまで行ってきた日本語教育への取り組みや日本語人材育成のノウハウを中核とした日本語教育の専門性を発展させ、国内外での日本語教育の質や研究力の向上に寄与すべく、オールジャパンで日本語教育や日本語文化教育への取り組みを支援することを目指します。本シンポジウムでは、新たな局面を迎えた日本語人材育成と日本語教育の発展に向けた展望、日本語教育を通じた多様な日本社会実現に貢献するための議論を深めます。

## プログラム

12:30 - 13:00	開場・受付
13:00 - 13:20	<b>開会の挨拶</b> 加藤光保 / 筑波大学副学長・理事 (教育担当) <b>来賓ご挨拶</b> 今村聡子氏 / 文部科学省 総合教育政策局 日本語教育課 課長
13:20 - 13:40	<b>日本語教育・コミュニケーション・ビジョン2024</b> 小野正樹 / 筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター長、人文社会系 教授
13:40 - 14:50	<b>基調講演1 「『異言語教育』としての日本語教育」</b> 西口光一 / 広島大学特任教授、公益社団法人 日本語教育学会 会長 <b>基調講演2 「日本語教師とインクルーシブ教育」</b> 来嶋洋美 / 日本語教育専門家、元国際交流基金日本語国際センター専任講師
14:50 - 15:00	休憩
15:00 - 17:00	<b>シンポジウム「日本語教育の発展に向けて」</b> 「共創のための日本語教育 - 制度と人材育成の歴史と展望 -」 田中祐輔 / 筑波大学人文社会系 教授 「ICTを媒介として学びの成熟を支援する」 伊藤秀明 / 筑波大学人文社会系 准教授 「地域日本語教育との向き合い方」 澤田浩子 / 筑波大学人文社会系 准教授 国内外研究者からの期待と全体討論 コメンテーター 守時なぎさ / リュブリャナ大学 副教授 クロージング
17:00 - 19:00	意見交換会 会場5階にて 参加費 2000 円 ※シンポジウムにご参加いただいた皆様との交流と意見交換の場を設けてさせていただきます。お時間の許す方はぜひご参加ください。

学びのあり方を創造するー社会を牽引する「日本語人材」の育成ー

キックオフシンポジウム

参加申込はこちらから

<https://forms.office.com/r/DY9TrzU6H2>



お申込み締切  
12/6  
(金) まで

2024 12.14 (土)

13:00-17:00 オンライン参加も可

TKPガーデンシティPREMIUM 品川  
〒108-0074 東京都港区高輪 4-11-16 京急第 11 ビル 6 階



日本語・日本文化総合教育研究センター  
Research and Education Center for Japanese Language and Culture



筑波大学  
University of Tsukuba

お問い合わせ

筑波大学 REC-J 事務局  
rec-j@un.tsukuba.ac.jp

REC-J ウェブサイト  
<https://rec-j.cegloc.tsukuba.ac.jp>

主催：筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター (CEGLOC)  
共催：筑波大学人文社会系

# PROFILE

## 開会の挨拶



### 加藤光保

(かとう・みつやす)

筑波大学副学長・理事  
(教育担当)  
同医学医療系教授  
医学博士(東北大学)

東北大学医学部卒業。東北大学医学部助手、ルードビッヒ癌研究所(ウプサラ支部、スウェーデン)客員研究員(兼任)、(財)癌研究会癌研究所研究員を経て2002年筑波大学基礎医学系教授(病理学)、2018年同医学医療系長。2000年日本病理学会学術研究賞、2020年日本病理学賞受賞。2021年4月から現職。2023年から大学基準協会理事兼任。

## 来賓ご挨拶



### 今村聡子氏

(いまむら・さとこ)

文部科学省  
総合教育政策局  
日本語教育課 課長

平成7年文部省入省。初等中等教育、高等教育、国際関係、芸術文化等の分野で幅広く業務にあたり、省外では千葉県白井市教育長として学校統廃合、東京大学では指定国立大学法人の申請、東京医科歯科大学では東京工業大学との統合協議等の課題に取り組んだ。令和5年9月より文化庁国語課長に就任し、日本語教育機関認定法の施行準備に取組み、令和6年4月より総合教育政策局に新しく発足した日本語教育課長に就任。

## 開催趣旨説明



### 小野正樹

(おの・まさき)

筑波大学人文社会系・教授・グローバルコミュニケーション教育センター・センター長  
博士(言語学)

専門は日本語教育学と語用論。ドイツ・フンボルト大学客員講師を経て、筑波大学助手、講師、准教授を経て、現在に至る。令和6年度文科省「高度日本語人材育成のための教育システム開発推進事業」において、日本語・日本文化総合教育研究センター(REC-J)設立を主導。

## 基調講演



### 西口光一

(にしぐち・こういち)

広島大学特任教授、大阪大学名誉教授、(公社)日本語教育学会会長。博士(言語文化学)

国際基督教大学教育学研究科博士前期課程修了(教育学修士)。アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター講師、ハーバード大学言語文化部上級日本語課程主任を経て1994年に大阪大学へ。国際教育交流センター(元留学生センター)教授。言語文化研究科(現在は人文科学研究科)兼任。2022年4月から現職。



### 来嶋洋美

(きじま・ひろみ)

日本語教育専門家、元国際交流基金日本語国際センター専任講師(1991-2023)

国際交流基金日本語国際センター及び海外赴任地において、教師研修の計画・実施、日本語授業、教材開発を中心とした日本語教育支援事業に数多く携わった。主な出版物：JFスタンダード準拠教材『まるごと日本のことばと文化』入門 A1(2013)～初中級 A2/B1(2015) 三修社/共著『Can-doで教える 課題遂行型の日本語教育』(2024) 三修社/論文「外国語教師の継続的職能開発(CPD)の枠組み」『日本語教育』179号(2021)など

## シンポジウム



### 田中祐輔

(たなか・ゆうすけ)

筑波大学人文社会系教授

筑波大学日本語・日本文化学類卒業。早稲田大学大学院日本語教育研究科修了(博士：日本語教育学)。早稲田大学助手、中国復旦大学講師、東洋大学准教授、青山学院大学准教授を経て、現職。専門は、対象別日本語教育・言語政策・日本語教材教具・教科書コーパス・教育史等で、主な受賞に第32回大平正芳記念賞特別賞、2018年度日本語教育学会奨励賞、第一回若佐賞、2023年度グッドデザイン賞等がある。

## シンポジウム



### 伊藤秀明

(いとう・ひであき)

筑波大学人文社会系准教授

筑波大学人文社会科学部研究科にて博士(国際日本研究)を取得。国際交流基金派遣専門家(ドイツ)、国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員、筑波大学人文社会系助教を経て、2021年より現職。研究領域は日本語教育学。特に日本語教育方法論(ICT)を専門として、日本語教育方法/学習方法の検討と学習リソースの活用観点から、より良い日本語学習環境を整備していくことをめざしている。



### 澤田浩子

(さわだ・ひろこ)

筑波大学人文社会系准教授

神戸大学総合人間科学研究科にて博士(学術)を取得。京都大学国際交流センター常勤講師を経て、2006年に筑波大学に着任、2014年より現職。研究領域は日本語学、日本語教育学。近年では、茨城県との協働で外国人児童生徒教育に関わるプロジェクトを立ち上げ、大学生の日本語教育人材の育成や学校教員の研修など、地域と大学とが一体となった課題解決型教育プログラムの実践を行っている。

## コメンテーター



### 守時なぎさ

(もりとき・なぎさ)

リュブリャナ大学文学部副教授

筑波大学修士(地域研究・日本語教育)、リュブリャナ大学博士(一般言語学)。専門は、日本語教育、教師養成。イタリア、オランダ、クロアチア、トルコなどで講義する一方、スロベニア日本語教育協会設立、JLPT実施などスロベニアにおける日本語教育の安定化に関わる。ヨーロッパ日本語教師会前会長、日本語教育グローバル・ネットワーク前議長。